

【各専攻における理念】

● 文学研究科日本常民文化専攻 (中学校教諭専修(社会)・高等学校教諭専修(地理歴史))

日本常民文化専攻では、日本を中心に、日本内外の社会と文化に関して、日本史学や民俗学、文化人類学のいずれか一つを専門としつつも、それらを理論と実践の両面において有機的に結びつけながら超領域的に研究していく。これによって、文化に対する広い知識と深い理解を持った人材を育成し、高度の専門知識と研究能力を具えた社会系教員の養成を目指している。

【段階的目標とその計画】

<日本常民文化専攻> (中学校教諭専修(社会))

履修年次		到達目標と計画
年次	時期	
1年次	前期	研究指導及び授業科目を履修することにより、幅広い教養を身に付け、日本常民文化に関する系統的理解を養成することを通じて、一種免許状取得の際に身に付けた知識・教養を更に深め、且つ研究遂行能力を身に付け、専修免許に相応しい専門性を獲得することを目標とする。
	後期	引き続き、研究指導及び授業科目を履修することにより、幅広い教養を身に付け、日本常民文化に関する系統的理解を養成し、問題発見・問題解決能力を強化することを通じて、一種免許状取得の際に身に付けた知識・教養を更に深め、且つ研究遂行能力を身に付け、専修免許に相応しい専門性を獲得することを目標とする。
2年次	前期	2年次を迎え、修士論文を作成していく中で、日本常民文化の知見に基づく問題発見・問題解決能力を強化し、一種免許状取得の際に身に付けた知識・教養を更に高め、なお且つ研究遂行能力を身に付け、専修免許に相応しい専門性を獲得することを目標とする。
	後期	引き続き、修士論文を作成していく中で、日本常民文化の知見に基づく問題発見・問題解決能力を強化し、一種免許状取得の際に身に付けた知識・教養を更に高め、なお且つ研究遂行能力を身に付け、専修免許に相応しい専門性を獲得することを目標とする。

<日本常民文化専攻> (高等学校教諭専修(地理歴史))

履修年次		到達目標と計画
年次	時期	
1年次	前期	研究指導及び授業科目を履修することにより、幅広い教養を身に付け、日本常民文化に関する系統的理解を養成することを通じて、一種免許状取得の際に身に付けた知識・教養を更に深め、且つ研究遂行能力を身に付け、専修免許に相応しい専門性を獲得することを目標とする。
	後期	引き続き、研究指導及び授業科目を履修することにより、幅広い教養を身に付け、日本常民文化に関する系統的理解を養成し、問題発見・問題解決能力を強化することを通じて、一種免許状取得の際に身に付けた知識・教養を更に深め、且つ研究遂行能力を身に付け、専修免許に相応しい専門性を獲得することを目標とする。
2年次	前期	2年次を迎え、修士論文を作成していく中で、日本常民文化の知見に基づく問題発見・問題解決能力を強化し、一種免許状取得の際に身に付けた知識・教養を更に高め、なお且つ研究遂行能力を身に付け、専修免許に相応しい専門性を獲得することを目標とする。
	後期	引き続き、修士論文を作成していく中で、日本常民文化の知見に基づく問題発見・問題解決能力を強化し、一種免許状取得の際に身に付けた知識・教養を更に高め、なお且つ研究遂行能力を身に付け、専修免許に相応しい専門性を獲得することを目標とする。